

第98期

中間事業報告書

平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日

証券コード 6470



TAIHO

CONTENTS

- 株主の皆様へ
- 営業の概況
- 経営方針
- TAIHOの動き
- 業績ハイライト
- 配当金
- 単独決算の概要
- 連結決算の概要
- 株式の概況
- 会社の概況
- 株主メモ

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は、格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社の第98期中間期(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)の営業の概況と中間決算の結果につきまして、ご報告申し上げます。

皆様には、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年11月



取締役社長
高橋 清八

営業の概況

当中間期のわが国経済は、輸出や設備投資など一部に持ち直しの兆しが見られ、米国景気の回復期待や国内株式相場の上昇を背景に、景気は回復基調にあるものの、雇用情勢や個人消費は依然として低調に推移してきました。

自動車業界におきましては、国内販売は、前年同期を下回り、四輪車全体の国内生産台数につきましても、欧州、アジア向けの輸出が増加したものの、北米向けの輸出が減少し、結果として前年同期を下回りました。

このような情勢のなかで、当社は新中期経営計画('03～'05年度)を策定し、次なる発展に向けてスタートいたしました。

当中間期の国内事業につきましては、今年4月にホイールバランスウェイトメーカーの「ヤマテ工業株式会社」に資本参加いたしました。また、幸海第2工場が今年4月に完成し、ブシュ製品および精密電子部品の生産を開始いたしております。なお、今年10月にはガスケツト事業の強化と成長を図るため「日本ガスケツト株式会社」と業務提携いたしました。

海外事業につきましては、今年7月に中国において「大豊工業(煙台)有限公司」による「煙台春生滑動軸承有限公司」の吸収合併を実施いたしました。また、タイでは今年10月にASEANにおける第2の生産・販売拠点としてタイ企業との合併で「タイホウ タイランド株式会社」を設立いたしました。

設備投資につきましては、新製品受注による投資、幸海第2工場の建設および生産性向上のための合理化投資を重点に総額30億6千8百万円を実施いたしました。

当中間期の業績につきましては、売上高は242億4百万円となり、前年同期に比べ2億3千5百万円(1.0%減)の減収となりました。利益につきましては、年初からのSARS(重症急性呼吸器症候群)およびイラク戦争の影響で中近東およびアジア地域向けアフターマーケット用製品の販売が減少したこと、新製品立ち上がり時の諸問題対応費用が増加したこと等が重なり、営業利益は2億5千3百万円と前年同期に比べ11億2千3百万円(81.6%減)、経常利益は5億4千万円と前年

同期に比べ9億9百万円(62.7%減)、中間利益は3億1百万円と前年同期に比べ5億2千万円(63.3%減)の大幅減益となりました。このように大幅な減益となりましたことにつきまして、誠に申し訳なく思っております。

なお、下期の業績見通しにつきましては、上期の減益要因を一部引きずり、その影響が多少続くものとみておりますが、全社を挙げて業績回復に努力いたす所存であります。

中間配当金につきましては、平成15年10月29日開催の取締役会において、当初予定どおり1株につき8円とし、平成15年11月26日を支払開始日とすることを決めさせていただきましたのでご報告申し上げます。

今後の経済の見通しにつきましては、景況感が上向き

緩やかな景気回復の兆しが見られるものの、個人消費の回復、急激な円高など懸念材料は多く、引き続き軟調なまま推移すると思われます。

自動車業界におきましては、消費低迷が続くなか、国内生産台数の伸びは期待できず、また、カーメーカー間の競争激化に加えて、部品メーカーのグローバルな受注競争が一層進展して行き、引き続き厳しい状況が続くものと思われます。

このような環境のなかで、当社は、「スピードと変革」を新たなスローガンに掲げ、「独自技術と信頼により大競争時代を勝ち抜く」提案型の部品メーカーとして、世界の顧客および市場にとってなくてはならない信頼ある製品を創出し続けることによって発展してまいります。

経営方針

社 是

わが社は時流に先んじ、合理主義に基づき
優れた製品をもって顧客の信頼に応える
——— 信頼の大豊 ———

中期(2003年度～2005年度)経営方針

“独自技術”と“信頼”により、大競争時代を勝ち抜く

中期達成目標

1. “環境”“安全”“品質”における業界 No.1 への挑戦
2. 一步先を行く独自技術の開発と新製品の創出
3. 世界の顧客をターゲットとした戦略的営業の確立
4. 世界の競合メーカーを凌駕する、あらたな“モノづくり”の手法確立
5. 世界に通用する“人づくり”・“システムづくり”



2003.7

■大豊工業(煙台)有限公司が煙台春生滑動軸承有限公司を吸収合併

100%出資子会社「大豊工業(煙台)有限公司」(略称:TCY 中国 山東省 煙台)は、「煙台春生滑動軸承有限公司」(2002年10月当社が持分権100%購入)を吸収合併しました。

既に、「天津豊田汽車発動機有限公司」をはじめ日系の自動車合弁会社数社からも引き合いを受けており、2004年より現地生産のエンジンベアリングを納入する予定です。

将来的には、軸受材料から完成品加工までの一貫生産体制をつくり、生産量、販売高、収益性ともに中国No.1 のエンジン軸受メーカーをめざします。



大豊工業(煙台)有限公司

2003.10

■タイ現地法人 タイハウ タイランド株式会社の設立

ASEANにおける第2の生産・販売拠点として、タイ国にタイ企業との合弁で新会社タイハウ タイランド株式会社(略称:TCT)を設立しました。

設立の目的は、既設のインドネシア現地法人(PTN)と生産・供給の相互補完関係をつくり、ASEAN域内での生産・供給体制を強化することにあります。3年後を目処に売上拡大して、新工場建設の計画を立てております。

新会社の当面の取り扱い品目は、ターボチャージャー部品、LSD(リミテッド スリッパ デファレンシャル)部品、コンロッド用ブシュなどです。

既設のバンコク事務所(TBL)は、これを機に新会社に統合します。



タイハウ タイランド株式会社

2003.10

■フォルクスワーゲンから最高級車向けエンジンベアリングを初受注

ドイツ最大手自動車メーカーフォルクスワーゲン社(以下、VW社)より、最高級車向けエンジンベアリングを初めて受注しました。

採用されたのは、VW社の最高級車「フェートン」などに搭載されるW型12気筒、W型8気筒のガソリンエンジンで、当社はエンジンベアリングをドイツ ザルツギッター工場に納入しております。これは、当社の『鉛フリーエンジンベアリング』の性能が認められたもので、VW社より技術的に高い評価をいただいております。

これを機に、VW社の他機種への拡販を始め、欧州自動車メーカーへの拡販をめざします。



VW社に採用されたエンジンベアリング
RA520／SA250

2003.10

■日本ガスケット株式会社と業務提携

当社と日本ガスケット株式会社は、両社の事業強化と成長を図るため業務提携しました。

ガスケット事業において、当社の軸受開発からガスケット開発にいたる総合的な技術開発力と専門メーカーである日本ガスケット株式会社の高い専門技術を生かし、NO.1総合ガスケットメーカーグループとして競争力を高めます。

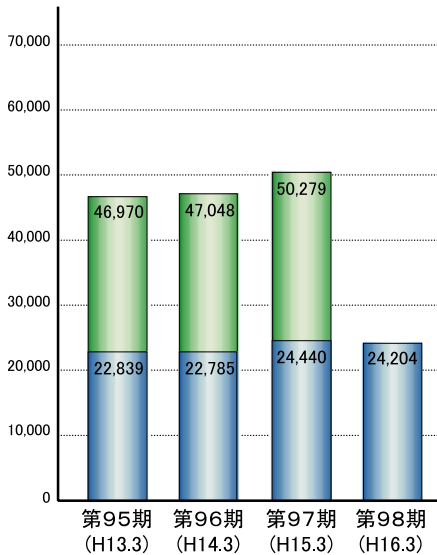
また、両社の海外生産拠点を相互に生かして世界4極生産・販売体制をつくり、今後ますますグローバル化する自動車エンジンの生産に、どこよりも早く対応できる体制を築くことで、さらなる発展をめざします。

通期 中間期

単独

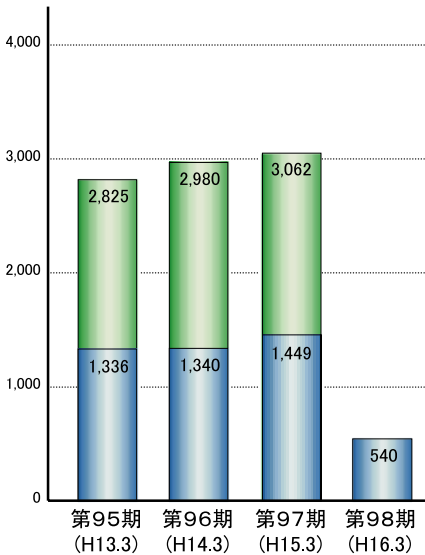
【売上高】

(単位: 百万円)



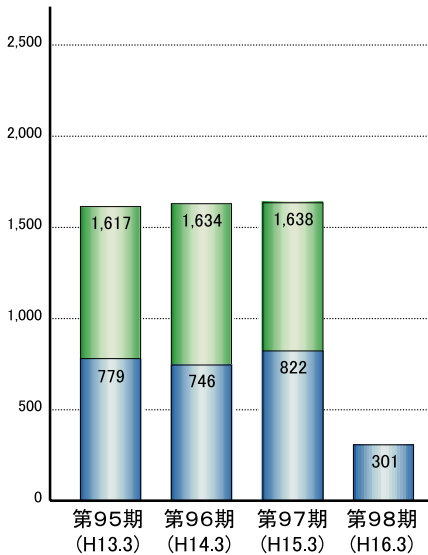
【経常利益】

(単位: 百万円)



【当期利益】

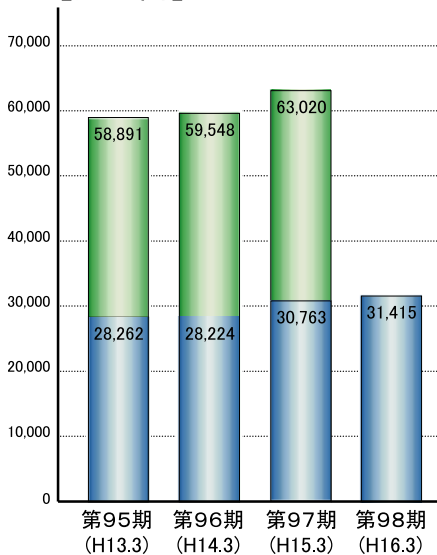
(単位: 百万円)



連結

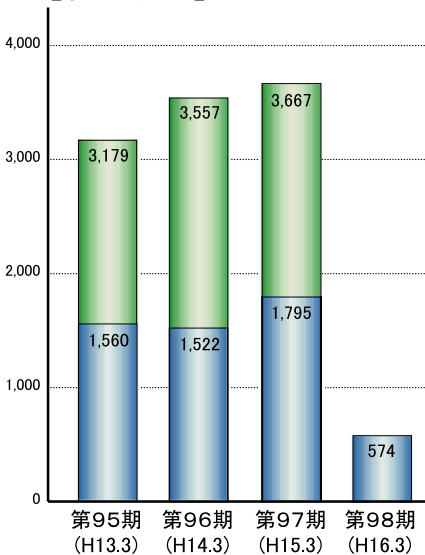
【売上高】

(単位: 百万円)



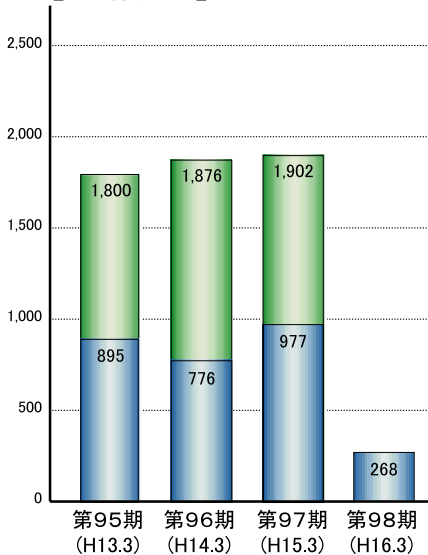
【経常利益】

(単位: 百万円)

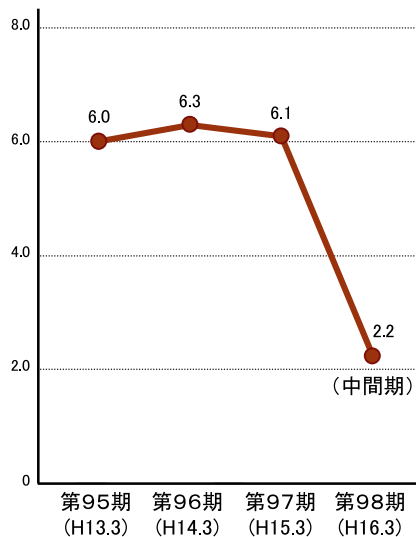


【当期利益】

(単位: 百万円)

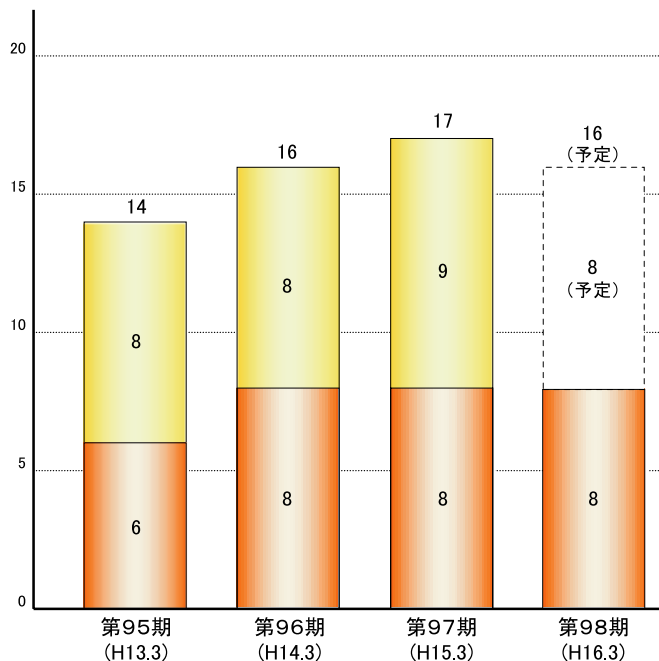


【売上高経常利益率】（単位：％）

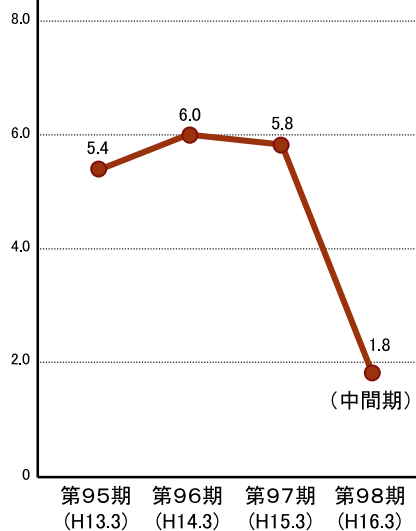


【1株当たり年間配当金】

（単位：円）



【売上高経常利益率】（単位：％）



■ 期末配当
■ 中間配当

貸借対照表

単位: 百万円(百万円未満切捨て)

科 目	当中間期	前 期
	H15.9.30現在	H15.3.31現在
【資産の部】		
流動資産	14,756	16,757
現金預金	1,394	3,521
受取手形及び売掛金	8,735	9,166
有価証券	769	963
たな卸資産	1,601	1,508
その他	2,255	1,597
固定資産	31,314	29,843
有形固定資産	22,284	20,919
建物	4,483	3,885
機械装置	9,445	9,109
土地	6,106	5,992
その他	2,249	1,932
無形固定資産	144	121
投資等	8,884	8,802
投資有価証券	1,811	1,747
子会社株式・出資金	5,294	5,090
その他	1,779	1,964
合 計	46,071	46,601

科 目	当中間期	前 期
	H15.9.30現在	H15.3.31現在
【負債の部】		
流動負債	9,492	9,979
支払手形及び買掛金	5,232	5,061
未払金	1,587	1,340
未払費用	2,422	2,447
その他	250	1,130
固定負債	3,518	3,697
退職給付引当金	3,436	3,528
その他	81	169
負債計	13,010	13,676
【資産の部】		
資本金	5,726	5,726
資本剰余金	6,324	6,324
利益剰余金	21,142	21,115
うち中間(当期)利益	(301)	(1,638)
評価差額金	235	136
自己株式	△ 368	△ 377
資本計	33,060	32,924
合 計	46,071	46,601

損益計算書

単位: 百万円(百万円未満切捨て)

科 目	当中間期	前中間期
	H15.4.1から H15.9.30まで	H14.4.1から H14.9.30まで
売上高	24,204	24,440
売上原価	21,124	20,267
販売費及び一般管理費	2,826	2,795
営業利益	253	1,377
営業外収益	379	207
営業外費用	93	135
経常利益	540	1,449
特別利益	1	1
特別損失	2	15
税引前中間利益	539	1,435
法人税、住民税及び事業税	123	715
法人税等調整額	114	△ 101
中間利益	301	822
前期繰越利益	419	406
中間未処分利益	721	1,229

■ 中間配当金について

平成15年10月29日開催の取締役会において、平成15年9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主または登録質権者に対して行う中間配当につき、次のとおり決議しました。

1. 中 間 配 当 金 1株につき8円
2. 支払請求権の効力発生日 平成15年11月26日
および支払開始日

連結貸借対照表

単位: 百万円(百万円未満切捨て)

科 目	当中間期	前 期
	H15.9.30現在	H15.3.31現在
【資産の部】		
流動資産	21,810	22,542
現金預金	3,214	5,704
受取手形及び売掛金	11,753	11,466
有価証券	780	973
たな卸資産	3,906	2,727
その他	2,155	1,670
固定資産	34,519	32,870
有形固定資産	29,820	28,052
無形固定資産	734	777
投資その他の資産	3,964	4,040
合 計	56,329	55,412

科 目	当中間期	前 期
	H15.9.30現在	H15.3.31現在
【負債の部】		
流動負債	14,806	13,809
固定負債	4,431	4,590
退職給付引当金	3,571	3,651
その他	860	938
負債計	19,238	18,399
【少数株主持分】		
少数株主持分	913	895
【資産の部】		
資本金	5,726	5,726
資本剰余金	6,324	6,324
利益剰余金	23,817	23,880
評価差額金	233	133
為替換算調整勘定	444	430
自己株式	△ 368	△ 377
資本計	36,177	36,117
合 計	56,329	55,412

連結損益計算書

単位: 百万円(百万円未満切捨て)

科 目	当中間期	前中間期
	H15.4.1から H15.9.30まで	H14.4.1から H14.9.30まで
売上高	31,415	30,763
売上原価	27,133	25,506
販売費及び一般管理費	3,790	3,461
営業利益	491	1,795
営業外収益	225	171
営業外費用	142	171
経常利益	574	1,795
特別利益	1	1
特別損失	3	25
税金等調整前中間純利益	572	1,771
法人税、住民税及び事業税	302	878
法人税等調整額	△ 26	△ 109
少数株主利益	28	24
中間純利益	268	977

株式の概況

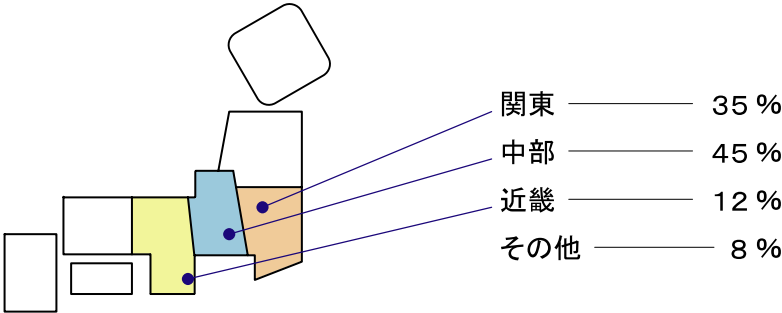
(平成15年9月30日現在)

■ 会社が発行する株式の総数	48,400,000株
■ 発行済株式総数	24,931,000株
■ 株主数	5,715名
■ 大株主(上位10名)	

	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
豊田通商株式会社	1,071
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	731
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	621
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	416
大豊工業従業員持株会	371
野々山秀夫	305
柴田幸子	256
多田勝美	200

注) 当社は自己株式381千株(ストックオプション制度に基づく自己株式379千株を含む)を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記の大株主から除いております。

■ 株主の地域分布



■会社概要

創 業 昭和19年1月
資 本 金 57億2千6百万円
従業員数 1,460名
事業内容 軸受製品、ダイカスト製品、ガasket製品
組付製品他、精密金型
上記製品の製造および販売

■事業所および営業所

- 本社／本社工場
〒471-8502 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65
- 技術本館／細谷工場
〒471-8502 愛知県豊田市細谷町2-47
- 篠原工場(愛知県豊田市)
- 九州工場／九州営業所(鹿児島県出水市)
- 春日井工場(愛知県春日井市)
- 幸海工場(愛知県豊田市)
- 岡崎工場(愛知県岡崎市)
- 東京営業所(東京都港区)
- 大阪営業所(大阪市福島区)
- 静岡営業所(静岡県掛川市)
- 松本営業所(長野県松本市)
- ★デュッセルドルフ事務所(ドイツ)
- ★バンコク事務所(タイ)^{※1}

■子会社

大豊精機株式会社
株式会社ティーイーティー
株式会社タイハウライフサービス
株式会社タイハウテクノサービス
タイハウ コーポレーション オブ アメリカ
タイハウ ヌサンタラ株式会社
タイハウ コーポレーション オブ ヨーロッパ有限会社
韓国大豊株式会社
大豊工業(煙台)有限公司
(タイハウ タイランド株式会社 10月設立)

■関連会社

日本メタルガasket株式会社
株式会社内藤
ティーエフ グローバル ガasket 有限会社
ヤマテ工業株式会社

■役員

取締役社長	高橋 清八
取締役副社長	津田 重郎
専務取締役	福田 孝
専務取締役	河合 弘義
常務取締役	近藤 孝
常務取締役	村木 武
取締役	能瀬 嘉則 ^{※2}
取締役	寺田 博道
取締役	野々山 秀夫
取締役	熊田 喜生
取締役	柴田 和敏
取締役	斎藤 和幸
取締役	野村 義則
取締役	山崎 謙一
取締役	近藤 隆彦
常勤監査役	篠田 進弥
常勤監査役	加藤 博光
監査役	二橋 岩雄

※1 10月より タイハウ タイランド株式会社へ統合

※2 タイハウ コーポレーション オブ アメリカ取締役社長

株主メモ

決 算 期 3月31日

定 時 株 主 総 会 6月

利益配当金支払株主確定日 3月31日

中間配当金支払株主確定日 9月30日

株 主 名 義 書 換

名義書換代理人 UFJ信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 所 〒137-8081

(お問い合わせ先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 03(5683)5111(代表)

同 取 次 所 UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞

上 場 証 券 取 引 所 東京・名古屋

ホームページアドレス <http://www.taihonet.co.jp>



※この事業報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

総務部広報室／0565(28)2225

●地球環境保護のため、再生紙を使用しています。